

J O C S 祈りの花束

2022年2月

今月のことば: さあ、あなた自らが兄弟のところに駆けつけるべきなのです。(ヨハネ・クリュソストモス 四世紀)

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1 新型コロナウイルスによって困難な状況におかれている方々、そして対応に関わるすべての保健医療従事者のため	2 会員・支援者の増強のため	3 事務局スタッフのため	4 冬期募金のため	5 岩本直美ワーカーのため(本日、報告会をオンラインで開催)
6 新型コロナウイルスに対する公正な医療アクセスのため	7 ママ・ナ・ムトプロジェクト(協働プロジェクト)のため(タンザニア)	8 雨宮春子ワーカーのため(タンザニア)	9 地区 JOCS の働きのため	10 ラルシュ・マイメンシン(バングラデシュ)のため、岩本さんの後任のリーダーのため	11 信教の自由が、どこにおいても守られるように。信仰の多様性を認め合うことができるように(本日、信教の自由を守る日*1)	12 JOCS に協力するボランティアの方々のため(自宅待機中)
13 JOCS の会員のため(特に新潟県の会員のため。現在 31 名)	14 地区ボランティア活動委員会のため(本日、委員会をオンラインで開催)	15 「古本募金」「つながる募金」の普及のため	16 財務委員会のため(本日、委員会をオンラインで開催)	17 JOCS を支援している教会のため	18 オンラインによる諸活動の充実のため	19 遺贈に関する広報や活動が実を結ぶため
20 シロアムプロジェクト(協働プロジェクト)のため(ケニア)	21 すべての人の母語とその文化が尊重されるように(本日、国際母語の日*2)	22 新しいワーカーが与えられるように	23 ワーカーの安全のため。タンザニアの治安のため	24 JOCS の奨学生のため(特にネパールの奨学生のため。現在 24 名)	25 会報誌「みんなで生きる」のため	26 感染症に関する緊急医療活動支援先のため(インドネシア・ネパール・バングラデシュ・ケニア・タンザニア)
27 使用済み切手収集活動のため	28 選挙管理委員会のため(本日、委員会を開催)					

* 1: 日本キリスト教団・バプテスト連盟などの諸教会で制定された日。

* 2: International Mother Language Day

(ユネスコが制定した国際デー。1952年、当時パキスタンの一部であったバングラデシュで起きたベンガル語公用語化運動に由来する。)

祈りの項目

岩本直美ワーカーより: ラルシュ・マイメンシン(バングラデシュ)のリーダーであるロトナとゴウトム、会計士シャゴール、ラルシュの理事会のために。



みことばの黙想

2022年2月

これらの短いみことばは、フランスにある超教派男子修道共同体テゼの昼の祈りから取られたものです。

より深くみことばを味わいたい方は、出典箇所を参照して文脈のなかでみことばを黙想なさってください。

聖書本文は、原則として『聖書 新共同訳』日本聖書協会発行をもとにしています。

1日(火)

詩編 19

主の律法は完全で、魂を生き返らせ、主の命令はまっすぐで、心に喜びを与える。

2日(水)

ルカ 2:22-38

†主の奉獻

シメオンは幼子イエスを見ると、神をたたえて言った。「主よ、今こそあなたは、お言葉どおりこの僕(しもべ)を安らかに去らせてくださいます。わたしはこの目で万民のために整えてくださった、あなたの救いを見たからです。」

3日(木)

創世記 12:1-5

主はアブラムに言われた。「あなたは生まれ故郷、父の家を離れて、わたしが示す地に行きなさい。」アブラムは、主の言葉に従って旅立った。

4日(金)

2コリント 7:1-7

パウロは記す。「わたしたちの身には全く安らぎがなく、外には戦い、内には恐れがあったのです。しかし、気落ちした者を力づけてくださる神は、わたしたちを慰めてくださいました。」

5日(土)

黙示録 21:1-7

見よ、神の幕屋が人の間にあって、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの涙をことごとくぬぐい取ってください。

6日(日)

ルカ 5:1-11

イエスはシモン・ペトロに言われた。「恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる。」そこで、彼らは舟を陸に上げ、すべてを捨ててイエスに従った。

7日(月)

箴言 8:12-31

わたしを愛する人をわたしも愛し、わたしを捜し求める人はわたしを見いだす。慈善の道をわたしは歩き、正義の道をわたしは進む。

8日(火)

1ペトロ 1:22-25

ペトロは記す。「清い心で深く愛し合いなさい。」

9日(水)

詩編 147

主を賛美せよ。わたしたちの神をほめ歌うのはいかに喜ばしいことか。神は打ち砕かれた心の人々を癒し、その傷を包んでくださる。

10日(木)

ヨハネ 14:1-12

イエスは言われた。「わたしがあなたがたに言う言葉は、自分から話しているのではない。わたしの内におられる父が、その業(わざ)を行っておられるのである。」

11日(金)

1テモテ 4:7-10

パウロは記す。「わたしたちが労苦し、奮闘するのは、すべての人の救い主である生ける神に希望を置いているからです。」

12日(土)

詩編 89:1-30

主の慈しみをとこしえにわたしは歌います。わたしの口は代々にあなたのまことを告げ知らせます。天にはとこしえに慈しみが備えられ、あなたのまことがそこに立てられます。

13日(日)

ルカ 6:20-23

イエスは弟子たちを見て言われた。「貧しい人々は、幸い、神の国はあなたがたのもの。」

14日(月)

知恵 6:12-16

神の知恵を愛する人には、知恵は進んで自分を現し、探す人には自分を示す。

15日(火)

ヤコブ 3:13-18

ヤコブは記す。「義の実は、平和を実現する人たちによって蒔かれます。」

16日(水)

ローマ 6:8-14

聖パウロは記す。「あなたがたは罪に対して死んでいますが、キリスト・イエスに結ばれて、神に対して生きています。」

17日(木)

詩編 25

あなたのまことにわたしを導いてください。教えてください。あなたはわたしを救ってくださいる神。

18日(金)

ルカ 9:1-6

イエスは十二人を、神の国を宣(の)べ伝え、病人をいやすために遣わされた。彼らは出かけて行き、村から村へと巡り歩きながら、至るところで福音を告げ知らせ、病気をいやした。

19日(土)

イザヤ 43:9-12

主は言われる。「わたしの証人はあなたたち、わたしが選んだわたしの僕(しもべ)だ。」

20日(日)

ルカ 6:27-35

イエスは言われた。「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。」

21日(月)

ルカ 12:32-48

イエスは言われた。「主人が帰って来て戸をたたくとき、すぐに開けようと待っている人のようにしていなさい。」

22日(火)

エレミヤ 31:15-20

主は言われる。「わたしの民はわたしの大事な子。彼をわたしは深く心に留め、彼の故に、胸は高鳴り、わたしは彼を憐れまずにはいられない。」

23日(水)

2コリント 8:7-15

パウロは記す。「あなたがたは私たちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は富んでいたのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。」

24日(木)

ダニエル 2:19-23

ダニエルは言った。「神の御名をたたえよ、世々とこしえに。神は、奥義と秘儀を現し、闇にひそむものを知り、光は御もとに宿る。」

25日(金)

ヤコブ 5:7-11

ヤコブは記す。「忍耐しなさい。心を固く保ちなさい。主が来られる時が迫っているからです。」

26日(土)

イザヤ 28:16-17

主は言われる。「わたしは確かな礎(いしずえ)をわたしの民に据える。信じる者は、慌てることはない。わたしは正義を計り縄とし、恵みの業(わざ)を分銅とする。」

27日(日)

ルカ 6:39-45

イエスは言われた。「まず自分の目から丸太を取り除きなさい。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目にあるおが屑を取り除くことができる。」

28日(月)

ゼカリヤ 8:7-8

主は言われる。「見よ、東からも西からもわたしはわが民を救い出す。彼らはわたしの民となり、わたしは真実と正義に基づいて彼らの神となる。」